



エコアクション21

2023年度環境経営レポート

活動期間 2023年4月～2024年3月



株式会社西四国マツダ

2024年 8月31日 発行

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

株式会社西四国マツダは、地球規模の保全が全人類の最重要課題の一つであることを認識し、全社員の自主的な取り組みにより、当社の各事業分野の活動において、積極的に環境負荷の継続的な低減に努め、持続的に発展できる経済社会の実現に寄与する。

<行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 二酸化炭素を削減するため、省資源・省エネルギー、水使用量の削減に努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 化学物質の適正な管理に努めます。
6. 当社の販売・提供する商品及びサービスは環境配慮型とし、その普及を通じて環境負荷の低減に努めます。
7. 環境経営目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
8. 私たちは、環境に関する社会の要請に積極的に耳を傾け、企業活動に反映させます。
9. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

制定日：2010年7月1日

改訂日：2023年4月1日

株式会社西四国マツダ

代表取締役社長 **江藤 忠義**

事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社西四国マツダ
代表取締役社長 江藤 忠義



2. 所在地

本社	〒791-1115	愛媛県松山市土居町793番地1	TEL 089 (969) 1525
山越店	〒791-8013	愛媛県松山市山越6丁目5番18号	TEL 089 (925) 8140
森松店	〒791-1115	愛媛県松山市土居町793番地1	TEL 089 (957) 2525
新居浜店	〒792-0050	愛媛県新居浜市萩生606-1	TEL 0897 (41) 9111
今治店	〒799-1523	愛媛県今治市郷桜井4丁目7-52	TEL 0898 (48) 7744
宇和島店	〒798-0074	愛媛県宇和島市並松1丁目2-34	TEL 0895 (22) 4300
高知支店	〒781-0074	高知県高知市南金田4番11号	TEL 088 (883) 9120
朝倉店	〒780-8077	高知県高知市朝倉西町1丁目10-6	TEL 088 (844) 3131
高知中央店	〒781-0074	高知県高知市南金田4番11号	TEL 088 (883) 8460
南国店	〒783-0092	高知県南国市田村乙2124-1	TEL 088 (864) 2191
中村店	〒787-0019	高知県四万十市具同2211-1	TEL 0880 (37) 2107

3. 事業内容

- 新車販売（乗用・商用車、特装車） ■中古車販売 ■車輛整備（板金・車検・点検・一般修理）
- 部品、ケミカル用品販売 ■損害保険、生命保険代理店業務 ■JAF取扱い

4. 事業の規模

対象店舗	本社	(2023年度)	(2022年度)	(2021年度)
従業員数		178名	195名	207名
土地面積		21,334㎡	22,591㎡	22,591㎡
売上高（百万円）		6,170	6,016	6,237
新車販売台数		1,188台	1,226台	1,350台
中古車販売台数		1,358台	1,273台	1,602台
整備台数				
	車検	6,663台	7,031台	6,755台
	点検	17,645台	17,535台	19,140台
	一般整備	11,546台	11,874台	12,637台
	外装・板金	1,193台	1,151台	1,227台
損害保険総付保件数		5,730件	5,994件	6,310件

5. 法人設立年月日

昭和55年1月16日

6. 資本金の額

2億1700万円

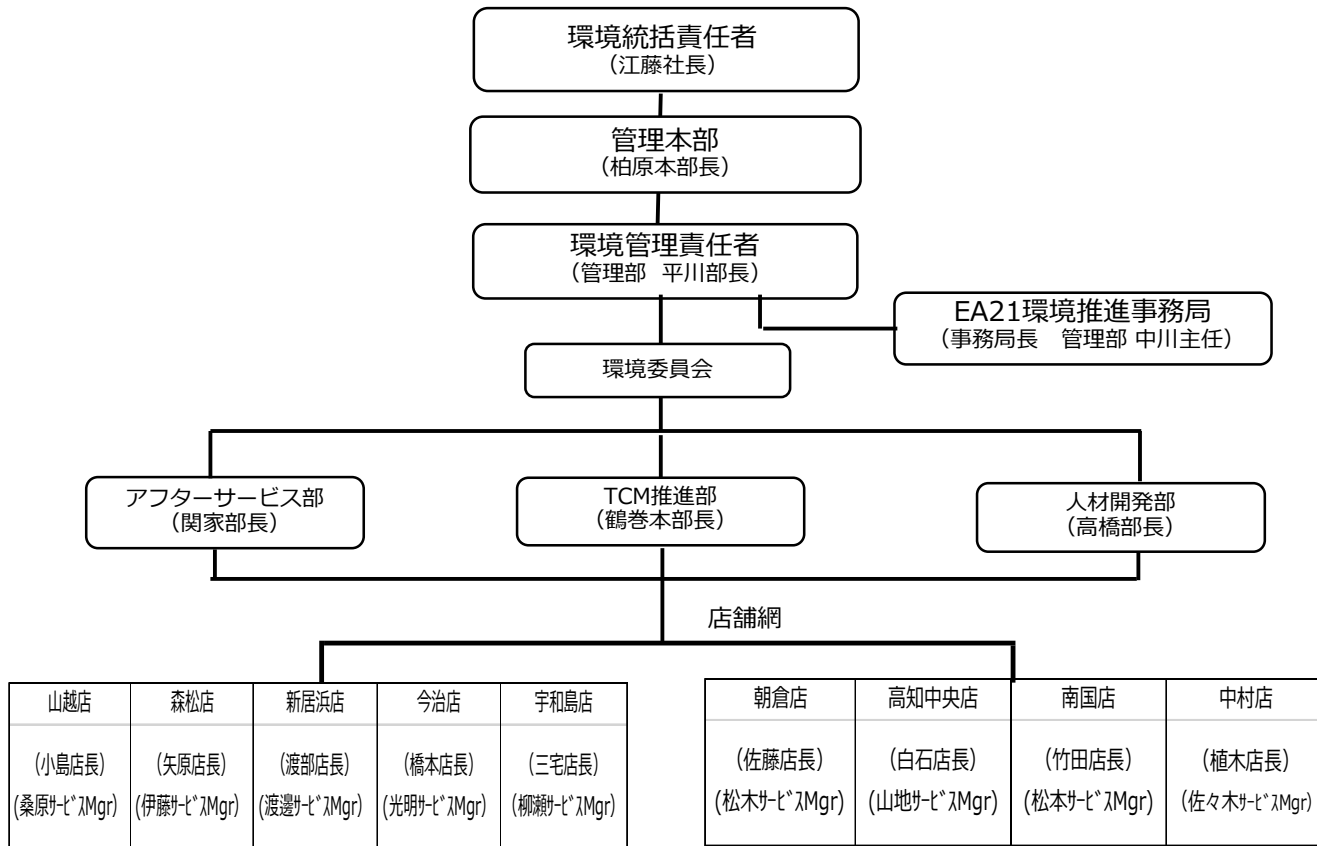
7. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	管理部	平川部長	TEL 089-969-1525
E A 2 1 推進事務局長	管理部	中川主任	TEL 089-969-1525
担当連絡先	管理部	中川主任	TEL 089-969-1525

取組体制、及び、認証・登録範囲

(注)：認証・登録範囲は、下記の全組織です。

取組体制図(2024.4.1)



職務担当表

環境統括責任者 ＜江藤社長＞	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 環境管理責任者の任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 ＜管理部 平川部長＞	<ul style="list-style-type: none"> 実務上の責任者として、環境取り組みを推進 ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 内部監査担当 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進 環境データの集計・取りまとめ 内部監査担当 全社環境委員会の事務局
部門長 ＜新中サ管理各部長＞	<ul style="list-style-type: none"> 全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進 担当部門の環境取り組みの責任者
店舗環境管理責任者 ＜正：店長、 副：サービスMgr＞	<ul style="list-style-type: none"> 店長：店舗の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進・管理 サービスMgr：MECA21を中心にサービス領域の環境取り組みに責任を持つとともに店舗全体の環境取り組みにおいて店長をサポートする

環境経営目標

項目	単位	基準年	目標			
		2017年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		'17.4~'18.3	'22.4~'23.3	'23.4~'24.3	'24.4~'25.3	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	706,411	671,790	665,072	658,421	
目標：売上高原単位 /百万円		100.8	95.8	94.8	93.9	
電力使用量	kWh	773,943	736,013	728,653	721,366	
目標：売上高原単位 /百万円		110.4	104.9	103.9	102.8	
化石燃料	L	ガソリン使用量	39,499	37,564	37,188	36,816
		目標：売上高原単位 /百万円	5.6	5.3	5.2	5.2
石	L	軽油使用量	39,076	37,161	36,789	36,421
		目標：売上高原単位 /百万円	5.57	5.30	5.2	5.2
燃	L	灯油使用量	1,475	1,403	1,389	1,375
		目標：売上高原単位 /百万円	0.210	0.204	0.202	0.200
料	kg	ガス使用量	34.0	32.4	32.1	31.8
		目標：売上高原単位 /百万円	0.0048	0.0046	0.0046	0.0045
廃棄物排出量（一般+産業）	kg	186,515	177,374	175,600	173,844	
目標：売上高原単位 /百万円		26.6	25.3	25.0	24.8	
水使用量	m ³	7,830	7,446	7,372	7,298	
目標：売上高原単位 /百万円		1.12	1.06	1.05	1.04	
化学物質使用量	kg	66	62.37	61.75	61.13	
目標：売上高原単位 /百万円		0.0093	0.0089	0.0088	0.0087	
環境配慮への取組	%	エコカー比率	—	99.0%	前年比100%以上	前年比100%以上
デポジットクリーナーの拡販		個	—	4,432	前年比100%以上	前年比100%以上

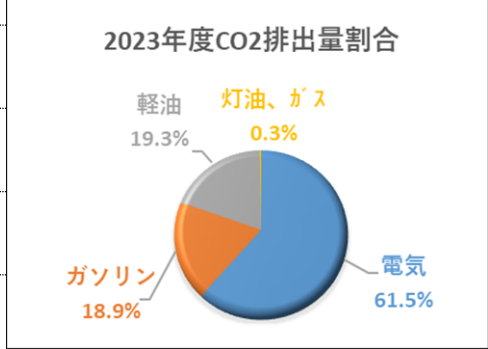
(注) 基準年2017年度売上高7,011百万円を目標設定に使用した。

2023年度環境経営計画表

計画 / 担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クールビズ		平川										
取組途中経過報告				森田			森田			森田		
フロン簡易点検		店長			店長			店長			店長	
環境事故対応訓練											アフターサービス部	
マニフェスト交付状況報告			森田									
ライトダウンキャンペーン参加			平川	平川								平川
内部監査											平川・森田	
避難訓練・消火訓練・AED								渡部				
災害時安否確認訓練						森田					森田	

環境計画及び取組

環境経営計画	取組結果	実績						
		項目	単位	('23.4-'24.3)	('22.4-'23.3)	実績前年比	基準年比 (2017年度)	
電気使用量の削減	・メジャーサイン早期消灯、点灯時間は最低月1回、閉店時間に合わせて見直す	点灯時間を季節(16:30~18:50の間でタイマー調整)によって見直ししたり、閉店後(タイマーは20:00消灯)は速やかに消灯する事を心掛けた。	二酸化炭素排出量	kg-CO2	495,856	502,361	-1%	-30%
	・使用時以外のトイレ、会議室、給油室、部品庫等の消灯	社員の節電意識の向上があり、不要な電気の使用を抑える事ができた。	電気使用量	kWh	577,571	608,300	-5%	-25%
	・自動販売機は24時間消灯	自販機の設定により実行している。						
	・定時退社日の設定と厳守	月1回の定時退社日を設定し、実行する事で電気使用量を削減した。尚、報告義務を設け、定時退社できないスタッフがいる場合は別途、定時退社日を設定し、報告させている。						
	・事務所の冷房28度、暖房20度の温度設定の徹底	温度計を確認し、過剰な冷暖房にならないようめに温度調節を行った。						
	・お客様スペースは過剰な冷暖房にならないように体感適温管理を行う	チーム営業(全数接客・全員接客)にて、お客様への声掛けを積極的に行っている						
	・エアコンフィルターの清掃	年末年始にエアコンフィルターの清掃を行い、効率よく設定温度になり、節電に繋がった。						
・待機電力オフの徹底	長期休暇の前などには使用しないコンセントを抜き、待機電力を節電するとともに、防災にも配慮した。							
化石燃料使用量の削減	・「エコドライブ10のすすめ」を実践し、習慣化する	3か月に1度、「エコドライブ10のすすめ」社内イントラにアップし、意識づけを行った。	ガソリン使用量	L	40,487	37,204	9%	3%
	・社有車の定期点検時期を管理し、半年毎に必ず実施する		軽油使用量	L	37,023	36,319	2%	-5%
	・燃費性能、環境性能に優れたクリーンディーゼルの使用推進	新型コロナウイルスが第5類相当に移行した事による店舗への移動や集合研修の増加に伴い、ガソリン、軽油の使用量は増加したが、社用車にクリーンディーゼル車やPHEV車を取り入れたり、乗り合わせの声掛けをしたことにより、増加幅を抑える事ができた。	灯油使用量	L	575	444	30%	-61%
	・可能な限り会議はWebで行い、移動による燃料の使用を削減する		ガス使用量	kg	6	19	-68%	-82%
廃棄物排出量の削減	・両面、縮小コピー、裏面再利用	会議や研修で使用する資料のペーパーレス化を意識し、紙の使用量の削減に努めた。	廃棄物排出量	kg	74,219	78,442	-5%	-60%
	・各届出、申請方法を見直し、WEBを活用することによりペーパーレス化を推進	紙面申請していたものをWEBでの申請に変更し、用紙削減、業務効率の改善を行った。						
	・コンビニ等外部からの持ち込みで発生する廃棄物(弁当空箱、ペットボトル等)は原則購入店のゴミ箱に廃棄する	会議等大人数で発注する弁当等は回収してくれる業者を優先的に利用し、ゴミの排出を抑えた。尚、個人持ち込みのゴミも持ち帰りを義務付けている。						
	・適正な分別を徹底し、リサイクル化と排出量削減を図る	ゴミの分別は全事業所にて確実に実施している。						
水使用量の削減	・定期的水道メーターの記録と漏水のチェック、使用量を把握することで意識の啓発を図る	毎月もしくは2か月に1度、水道使用量や水道代を記録する事で意識づけができ、節水に努めた。	水使用量	m	5,267	5,619	-6%	-33%
	・ストップノズル付きホースの全社使用	ストップノズル付きホースを使用する事により、水の出しっぱなし等を防ぎ、節水に繋げることができた。						
	・洗濯機の有効活用	必要に応じた適正な活用を実施						
化学物質適正管理・環境配慮	・環境に配慮した(詰替え品を含む)事務用品、消耗品等の購入	令和4年2月の法改正により、指定化学物質が674物質から903物質に増え、十分な対応ができなかった。	化学物質使用量	kg	79.78	35.66	124%	22%
	・環境に配慮した製品の拡販	環境に優しいカーライフの一環としてデポジットクリーナー(エンジン・燃焼室クリーナー)の販売促進を行った。	デポジットクリーナー-拡販	個	4,222	4,432	-5%	
	・燃費に優れ、環境にもやさしいエコカーの販売促進	販売車種のほとんどがエコカーになってきた為、促進する必要がなくなった。	エコカー-拡販	%	99	99	0%	



※次年度2024年度取組計画も同様とする。

取組結果の実績

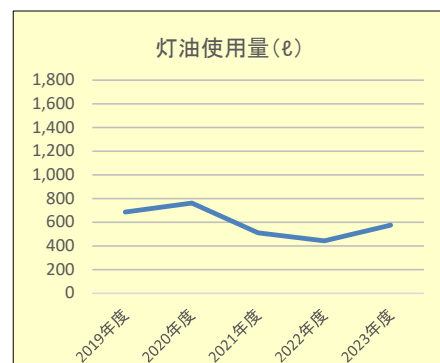
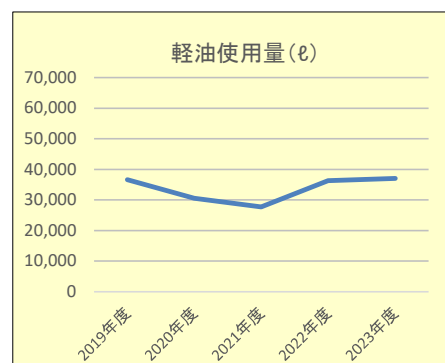
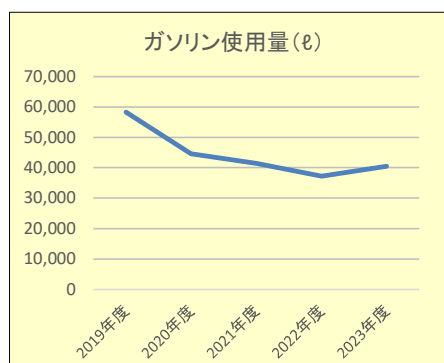
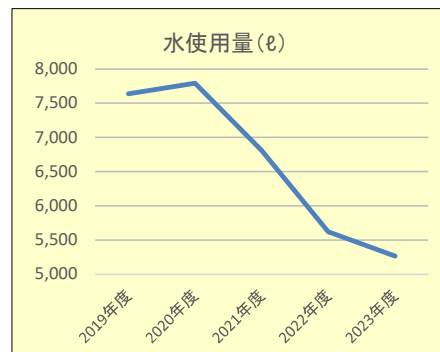
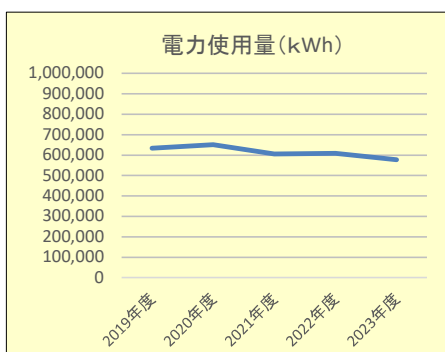
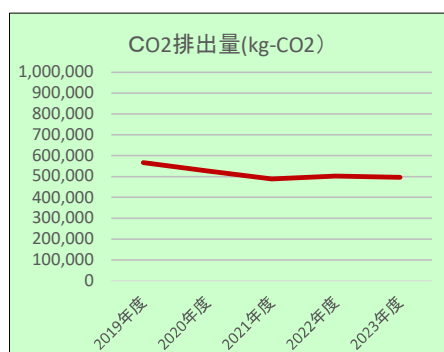
2023年4月～2024年3月の実績

(◎：絶対量目標・原単位目標共に達成 ○：いずれか達成 ×：共に未達)

項目	単位	基準 ('17.4-'18.3) 売上高 7,011百万円	目標 ('23.4-'24.3) '24.3)	目標 (売上高 原単位 /百万円)	実績 ('23.4-'24.3) 売上高 6170百万円	実績 (売上高 原単位 /百万円)	目標 達成率	売上高 原単位 達成率	前年実績 ('22.4-'23.3)	実績 前年比	基準 年比 (2017 年度)	評価
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	706,411	665,072	94.8	495,856	80.4	134%	118%	502,361	-1%	-30%	◎
電力使用量	kWh	773,943	728,653	103.9	577,571	93.6	126%	111%	608,300	-5%	-25%	◎
ガソリン 使用量	L	39,499	37,188	5.2	40,487	6.6	92%	79%	37,204	9%	3%	×
軽油使用量	L	39,076	36,789	5.2	37,023	6.00	99%	87%	36,319	2%	-5%	×
灯油使用量	L	1,475	1,389	0.202	575	0.093	242%	217%	444	30%	-61%	◎
ガス使用量	kg	34.0	31.8	0.0045	6.00	0.0010	529%	463%	19.02	-68%	-82%	◎
廃棄物排出量 (一般+産業)	kg	186,515	175,600	25.3	74,219	12.0	237%	210%	78,442	-5%	-60%	◎
水使用量	m ³	7,830	7,372	1.06	5,267	0.85	140%	124%	5,619	-6%	-33%	◎
化学物質 使用量	kg	66	61.75	0.0089	79.78	0.0129	77%	69%	35.66	124%	22%	×
エコカー拡販	%	—	前年比100%以上	—	99.0%	—	100%	—	99.0%	0%	—	達成
デボジット クリーナー拡販	個	—	前年比100%以上	—	4,222	—	95.3%	—	4,432	-5%	—	未達

(注) 四国電力(株)購買電力のCO₂排出係数は0.528(2018年度より採用)を使用した。

【参考：過去5年間の実績推移】



【その他の取組】

- ・ 全社員による集合研修を行い、環境経営を含む会社が目指していく共通の価値観等を共有しました。
- ・ 高知県で開催された龍馬マラソンにおいて、先導車やメディカルカーとして環境性能に優れた車両を提供し、運営に携わりました。
- ・ 展示会開催時にキッズイベントを企画し、ユーザーのお子様やそのご家族に整備体験等を通して、マツダの環境取組を体験して頂きました。



3年ぶり集合全社員MTG



メディカルカー



キッズイベント

環境関連法規への違反・訴訟の有無及び遵守状況の確認及び評価結果

1. 環境関連法規

環境関連法規	要求事項	評価
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の適正処理 ・ マニフェストの適正管理 	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用済み自動車の適正処理 	○
PRTR法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定化学物質の排出量/移動量の把握 	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設) 	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設) 	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽設置の届出 ・ 保守点検、清掃の記録 ・ 法定点検、水質検査 	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の届出 (コンプレッサー、送風機) 	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の届出 (コンプレッサー、送風機) 	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防用設備の設置、危険物取扱 ・ 防火管理者 ・ 消防用設備等点検 	○
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機械の設置 (乾燥装置) 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロンの適正管理 ・ 簡易点検の実施と記録 	○

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、逸脱はありませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。

代表者による全体の評価及び見直し・指示

項目		確認	作成者	環境管理責任者 平川 勝彦
			評価・コメント	
見直し 関連情報	1 エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	「私たちの幸せ」を考える意味でも、地球環境の保全は、全世界の人の命題です。自分たちの活動が、地域貢献につながっているという意識が根付くように声掛けをしていきましょう。	
	2 環境目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	移動増、試乗数増によりガソリン使用量については、未達成となったが、工場空調設備など職場スタッフの環境整備をしつつ、電気使用量を削減できたのは、スタッフの節電意識が高まっていると評価できる。社用車の適正台数、車種も見直し、車種ガソリン使用量の圧縮にも取り組んでいきましょう。	
	3 環境活動計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	今までの取り組みは継続し、店舗ネットワークの見直し、本部効率化を進め、『働き方改革』『生産活動の集中化』を行い、経済活動・環境活動の両面をカバー出来るように取り組ましましょう。	
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	コンプライアンスファーストは今期の取り組みの柱となります。法令改正にすぐに取り組めるよう、引き続き、対応した研修を実施していきましょう。	
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	6S活動を本部主体でガイドしていき、店舗が自ら気づき、主体的実行できるまで、ガイドしていきましょう。店舗周りの清掃は、近隣の方とのコミュニケーションが行える機会ですので、しっかり地域貢献活動として実施できるようにしましょう。	
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	毎月の店舗投資会議において、『安心・安全』を優先した店舗営繕の計画・実施について進めている。現在、『リアル体験』お客様に整備状況の確認、またご質問に答えるなど、工場内で行う機会が多いと思います。清掃は当然のことながら、安全・安心に加え、環境性・快適性についても必要に応じ投資を進めると同時に、日々、工場設備を確認し、お客様の安心・安全が担保できる状況を維持していきましょう。	
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	昨年に引き続き、2050年までにサプライチェーン全体で取り組み、お客様の新しいカーライフスタイルができるように、マツダグループが一丸となりカーボンニュートラル化を目指していきましょう。	
	8 内部監査状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	リスクマネジメントにおいて、まだまだ認識が薄い店長・工場長も存在する。今後も定期的なマネジメント研修においてもリスク管理についてしっかり研修を行う必要がある。	
	9 その他	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特に無し	

実施日	2024年3月31日	評価者	代表取締役社長 江藤 忠義
-----	------------	-----	---------------

2023年度は、新型コロナが第5類扱いとなり、日常生活も通常に戻りつつある、ウクライナ問題や円安為替等の影響により原材料費・燃料費の高騰・コスト増、人員不足、相次ぐ不正事案、自動車業界全体でもCASEに代表されるようにカーボンニュートラル化へ向けた取組が一気に加速、さまざまな課題や問題を掲げる非常に厳しい1年となりました。そんな中、当社に於いても今年度も、自動車業界、全国のマツダグループと連携しながら地域のお客様へ安心・安全をご提供する重要なインフラ、そして電動デバイス車促進、CO2削減アクション等、環境への取組を継続して行い、全てのステークホルダーから支持される会社を目指して取組みを進めてまいりました。

	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
見直し ・ 指示	1 環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-
	2 環境目標	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-
	3 環境活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-
	4 環境に関する組織(実施体制)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-
	6 その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	-